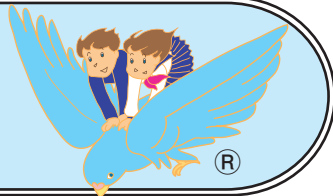


君とつばさ



令和5年1月1日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)1789
 (HP) https://www.kotsujii.com

©交通遺児育英会

「THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY」(世界の動きに想いを致しつつ、自らの周辺を改善するよう日々行動する)——私が現代日本人が実行すべきこの言葉を知ったのは亡妻、孝子が一九九三年二月、母の姉、楠田洲の残した旧松坂屋銀座の底地の一部など時価二十四億円の相続遺産を全て寄付して財団法人「楠田育英会」を設立した際のスローガンとした時だった。

原典はフランスの細菌学者、数学者でアルバート・ラスカー賞、ピューリッツァー賞を受賞した、ルネ・デュボス米ロッキーフエラー研究所員が一九八〇年に著した「地球への愛慕」で提唱したものだ。

孝子は銀行員で後に三菱銀行(現三菱UFJ)の頭取、会長を務めた田實波、相子夫妻の長女だが、田實夫人の姉で当時男爵家の楠田洲が子息に恵まれなかったため、孝子七歳の時、名義上の養女になった経緯がある。

孝子は敬けんなカトリック教徒で、早稲田大学第一文学部仏文科、同大学院生の際、隅田川沿いの蟻の街で廃品集めや子どもの世話などのボランティア活動をし、自らも大隈奨学生だったことが育英財団設立の動機となった。清泉女子大学教授、副学長時代に、冒頭の格言を女子学生に体現させるべく、自らが中心になって「地球市民科学」を設立、その志に基づいての「楠田育英会」設立だった。

しかし文部省(現文部科学省)との折衝は意外に難航した。同省の育英財団の新設ルールは三億円以上の現金が必要だったが、孝子の遺産一億円と、松坂屋の底地などから派生する年間家賃収入七千万円強で育英会を運営する計画は「先例なく認められ

THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY

年頭のごあいさつ

交通遺児育英会 会長

菅谷 定彦



多くの財団がゼロ金利下、運用に苦勞している中、地代収入は安定、奈良初代理事長(元三菱銀行副頭取)逝去に伴い、二代目理事長になった私、さらには育英会一期生で葉天を三木谷社長と共に創業した本城さん、元大蔵事務次官の平澤さんら理事、評議員全員が、孝子のもう一つのスローガン「ア・プレス・オ・フリージュ(恵まれた人間の義務)」にも賛同して無報酬を続けていることも、楠田育英会の経営を拡大発展させる大きな要因である。

わが国のバブル経済の崩壊が始まったのは、一九九〇年一月からの株に続き土地も反落に転じた一九九一年秋。以降わが国経済は実質経済成長率平均年一%の「失われた三十二年」のさなかにある。この間、二〇一二年十二月にスタートした安倍第

二次政権は黒田日銀総裁と一体になって日本経済回復のため①大胆な金融緩和と②機動的な財政出動③民間投資の喚起の「アベノミクス」を打ち出したが、時すでに遅く、加えて二〇一四年四月、経済が向上かない時に消費税率を五%から八%に引き上げたことが失敗だった。

この結果日本経済は「低成長、低賃金、低物価、低金利」の四低経済を続けたまま、新型コロナ禍、ロシアのウクライナ侵略を迎えた。

一九四五年の太平洋戦争敗戦からの復興にはじまり、ニクソン・ショックに伴う円切り上げ、石油ショックなどを乗り越えてきた最大の原動力は勤勉な日本の労働力と池田内閣の所得倍増計画など政府の適切な政策が合わった結果だった。しかし岸田内閣の閣僚三名がとんでもない失言などで辞任、この間の岸田首相の優柔不断な態度に象徴される政治の劣化、SMB C日興証券の株式不正取引、三菱電機の品質不正など日本を代表する大企業の不祥事が相次ぐ。先行き不安から内部留保の積み上げに走り設備投資に消極的な経済界、加えて世界で最もスピードの早い少子高齢化による労働人口の減少——わが国の前途は多難である。

日本の苦境を救う一つの道は、次代を担う日本の若者一人一人が「THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY」を実践することである。具体的には世界的ムーブメントになっている国連提唱のSDGs(持続可能な開発目標)に一人でも仲間と一緒に取り組んでいただきたい。脱炭素、資源保護などへの個々の努力が大きな潮流になれば日本復活のバネになる可能性がある。

令和4年度上期事業・会計報告

交通遺児育英会は11月28日、第35回通常理事会を開き、令和4年度上期の事業報告、会計報告を行った。コロナ禍への対応として、9月に一人当たり10万円の追加支援(5回目)を決めた。

◆事業報告

▽奨学生の採用

上期の奨学生の新規採用は前年同期比34人減の243人、継続採用は同24人増の673人で、総数は同10人減の916人となった。奨学金(貸与、給付)の総額は、同1100万円減の2億9300万円だった。

▽奨学金の返還

奨学金と一時金を合わせた返還額は4億7300万円。返還率は89.3%で、ともに前年同期を上回った。

▽コロナ対応支援金

令和2年6月(20万円)以降、5回目となる一人当たり10万円を10月に給付した。総額8800万円。これまでの給付総額は5億5400万円。

▽奨学生への指導

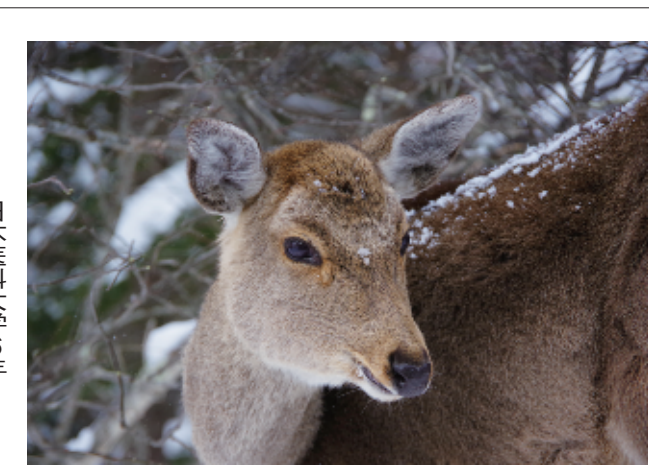
例年夏に実施している「海外語学研修」および「高校奨学生と保護者のつどい」を中止した。

▽学生寮の運営

東京寮建て替えのため在寮生は令和4年3月末、八王子・高尾寮へ転寮した。東京・関西の心塾生は計91人(同9月末現在)。

▽事業資金の拡大

上期の寄付金合計は5億1200万円。うち個人寄付は5649件、4億200万円。法人・団体寄付は665件、1億1000万円。



日本医科大学6年 蘭田 大二郎

今夏の海外語学研修 4年ぶり実施の方向

交通遺児育英会は毎年夏に実施している高校奨学生を対象とした海外語学研修を今夏、4年ぶりに行う方向で準備を進めている。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、選抜する予定。

か、マスメディアへの露出を増やすなど知名度向上に努めた。ホームページもリニューアルした。



破滅の物語なのに、心が落ち着く奇妙な感覚——。「落」にて人類最後の日」(ネヴィル・シュート著)に、そんな読後感を覚えた。さらには、もし自分だったらどう振る舞うだろうか、と▼第三次世界大戦後、広がる放射能汚染に耐えられない人類最後の日。人々がそれぞれにどう行動に深く考えさせられた。ロシアが核兵器の使用に言及し、分断が進行する21世紀。1957年に発表されたSFの名作は、今なお核戦争がもたらす破局を生々しく描き出す▼緊張と対立を深める世界で、唯一の被爆国であり、福島原発事故を経験した日本は軍備増強、原発推進に舵を切りつつある。熟議による合意形成こそ政治の最たる仕事のはずだが、現状はほど遠い。「落」にて「戦争は止められなかったのか」との問いに、「愚かな行為から人々を抜け出させる、唯一の可能性のある希望は教育」と答え、真実を知ることの大切さを説く場面がある▼ウクライナ侵襲から2月で1年。今この瞬間も現地には砲弾が飛び交い、人命が失われている。小説ほどとはいかないまでも、もう少しだけ想像力を働かせて考えてみたい。同じ地上で何が起きているのか、誰がどんな声を上げているのか、を。

「語りらいラウンジ」名古屋、福岡で試行

コロナ禍で中止されている「高校奨学生と保護者のつどい」の代替補完行事として「語りらいラウンジ」=写真=が昨年11、12月、名古屋、福岡市で開かれた。(3面に関連記事)

この人と

(公社)北海道交通安全推進委員会

筆頭副会長兼事務局長 甲谷 恵 さん



1960年、札幌市生まれ。北海道文化・スポーツ局長、食の安全推進監、食産業振興監などを歴任後、2020年から現職。

心に響く活動目指して

道内の交通事故死がピークだった頃、汚名返上を目指して、財界トップに交通安全運動の旗振り役をお願いするなど、官民挙げて75年に推進委が発足しました。以来、いろんな方々の努力の賜で03年以降、交通事故死「ワースト」は返上できましたが、それで

まだ不十分。今後も、あらゆる機会に交通安全を訴える必要があります。死亡事故が減った要因は車の安全性能向上、道路環境の整備もありますが、人々の意識が変わったことは大きいと思います。道職員時代は交通安全政策には携わっていませんでしたが、広報啓発の職務にはずっと関わりました。振り返れば「どうやって人の心は動かすだろう」ということばかり考えてきたように思います。交通安全の啓発活動にも言えることです。

一方、公務を通じた学びもありました。東日本大震災後、防災教育の仕事を担当したのですが、防災は日ごろの備えが大事です。これは交通安全の考え方に極めて近いんです。

事故前から飲酒運転が厳罰化され、社会の目も厳しくなっていただけに、若い世代や家族連れが犠牲にな

かつて年間交通事故死者数で「全国ワースト」という不名誉な記録が長く続いた北海道。「交通戦争」と呼ばれた時代には年間889人(1971年)が犠牲となったが、2021年には1200人まで減少した。官民協働で交通安全の啓発活動を担う公益社団法人・北海道交通安全推進委員会の甲谷恵さんに聞いた。

北海道では14年、小樽市内で海水浴客3人がひき逃げされ死亡。翌15年には砂川市で暴走車が家族連れ5人が乗った車に衝突、うち4人が死亡した。いずれも飲酒運転による事故だった。事件を機に「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が15年12月に施行され、小樽で事故が起きた7月13日を「飲酒運転根絶の日」として、道内各地で決起大会や集会が行われている。

着任後、啓発ポスターにクマのゆるキャラ「やべーや」や「写真右」を採用しました。ゆるキャラに惹かれたお孫さんが、おじいちゃんの飲酒運転を止めてくれるとか、周囲の抑止が大事です。子どもに言われたら大人もやめるでしょう？

「小さな村だから」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ところが実際は、オホーツク海へ抜ける車など夜間もそれなりに交通量はある。エンジンカなどの衝突事故も多く、警察からも「決して安全(な道)とは言えない」と聞きます。むろん、それ以上の記録が続く自治体は他にもあるのですが、西興部村の記録は決して「偶然の産物」ではありません。

村では子どものころから「人づくり」ができています。北海道には、交通安全旗という交通安全の象徴のような旗が多くの自治体にあります。道路沿いに掲げられたりする場合でも村では子どもの目の高さに合わせてある。凶案は村の子どもの毎年考える。そうやって、小さいころから行き届いた交通安全教育を受けているのです。

昨年6月、ゼロ記録「1万日」の式典に出席した際、村の10歳の子どものようなふうになっていたのが印象に残りました。「私が生まれた時から交通事故死はずっとありませんでした。これからも、永遠に(死亡事故は)ないんです、この村には」

「交通安全」大事なことと皆知っているんだけど、日常ではつい忘れがちです。西興部村では皆が忘れず心に留めているんですね。村全体で事故死ゼロを実現しているんだと思います。

村へ続く国道239号を進んで村境を越えると、道路わきに現れた「交通事故死ゼロの村」の看板。続いて、国道沿いに点々と掲げられた村の交通安全旗。写真左の蛍光色が目に入る。

「式典や行事も大切ですが、日ごろの声かけが何より大事です。職場でも家庭でも、『行ってきます』『気を付けて』を地道に続けていくことです」

一例を挙げましょう。「大地震発生から10分後、あなたは何をしていますか」と問われたら何と答えますか? 「家族を探して助けを求めよう」と答える方が多い。私も「自分は死んでいい」とは答えませんよ。「自分は絶対、被害者側には回らない」と思い込んでいますね。交通事故も同じだと思いますか?

加害側でも被害側でも自分が事故の当事者になることは、大方の人は考えていないんじゃないでしょうか。でも、実際はそうじゃない。時代が変われば、スマホの普及など新しい態様の事故も起きています。

北海道東部に位置する紋別郡西興部村。1995年以来、「交通事故死ゼロ」が1万日以上続くと、道内1位の交通安全の村である(22年12月15日現在1万1800日)。人口1000人余り、オホーツク海から日本海までを横断する国道239号が村を貫く。2年後の2025年1月30日24時には、ゼロ記録30年に到達する予定だ。

「交通安全」大事なことと皆知っているんだけど、日常ではつい忘れがちです。西興部村では皆が忘れず心に留めているんですね。村全体で事故死ゼロを実現しているんだと思います。

村へ続く国道239号を進んで村境を越えると、道路わきに現れた「交通事故死ゼロの村」の看板。続いて、国道沿いに点々と掲げられた村の交通安全旗。写真左の蛍光色が目に入る。

「式典や行事も大切ですが、日ごろの声かけが何より大事です。職場でも家庭でも、『行ってきます』『気を付けて』を地道に続けていくことです」

村では村外からの車が約7割を占めるだけに、衝突事故の多い「シカ注意」の看板を独自に考案するなど工夫を重ねている。村の小さな積み重ねがドライバーに伝われば良い」と菊池村長は言う。

「村の小さな積み重ね、ドライバーに伝えたい」

ドライバーに伝えたい

交通事故死ゼロ1万日〜西興部村探訪

どこまでも続く舗装路は道幅も広く、直線が続く。晩秋の一日、「交通事故死ゼロ」が27年以上続く西興部村を訪ねた。

村へ続く国道239号を進んで村境を越えると、道路わきに現れた「交通事故死ゼロの村」の看板。続いて、国道沿いに点々と掲げられた村の交通安全旗。写真左の蛍光色が目に入る。

「式典や行事も大切ですが、日ごろの声かけが何より大事です。職場でも家庭でも、『行ってきます』『気を付けて』を地道に続けていくことです」

村交通安全室の担当者は「かつて事故死ワーストが続いた時代と異なり、国道を猛スピードで飛ばす車を見かけなくなった。村だけでなく、道や道警、関係機関全体の取り組みが奏功している」と話している。

「事故の当事者」になってからでは遅い



菊池 博 村長

菊池村長は「安全運転を心がけ、次世代に伝えていくことが最善だ。(記録は)死亡事故のなかった日が積み上がっただけです」と控えめに話す。もっとも、菊池村長自身、約30年前に実姉を交通事故で失った。さらにかつて農協(JA)職員として自動車保険を扱

「交通安全意識は浸透して

西興部村を貫く国道239号沿道で行われる旗の波運動(西興部村提供)



ドライバーに安全運転を呼びかける街頭啓発活動(西興部村提供)

語らいラウンジで「元気をもらえた」

新型コロナウイルス感染症の拡大により、3年連続で中止されている「高校奨学生と保護者のつどい」に代わる補完事業として「語らいラウンジ」が試行された。

地域ごとに小規模なグループ懇談の場を設けることで、交通遺児育英会の修学支援事業への理解を深めてもらうと同時に、参加者同士のつながりを醸成し、親睦を図ってもらう狙いがある。

「つどい」とは異なり、該当する地区在住の全ての奨学生の保護者を対象として参加者を募った。初回の名古屋会場には東海地方（愛知、岐阜、三重、静岡）から計16人が参加。2グループに分かれて、土肥寿員専務理事、大屋克文事務局長らをまじえて懇談した。参加者からは、子どもとの接し方、進学、交通事故被害者家庭の実情などについて率直な意見や感想が聞かれた。

また、参加者の関心が高かった東京・関西の心塾（学生寮）についても、現在建て替え工事が行われている東京寮（東京都日野市）2024年春開設予定の概要などについて説明があった。

名古屋会場参加者のアンケートでは、開催について「満足」とした回答が大半を占め、「同じ境遇の方と話すことで、『自分だけではない』と肩の力が抜けた」「育英会の方々と直接お話をできて安心した」「元気をもらえた」「また開催してほしい」などの意見が挙がった。一方、「別グループの人と話せず残念」「話し足りなかつた」との声もあった。



プロの技と迫力に感動

心塾生がBリーグ・アルバルク東京戦を観戦

男子プロバスケットボール・Bリーグのアルバルク東京対茨城ロケットス（11月27日・国立代々木競技場第一体育館）を東京心塾生6人が観戦した。写真・心塾生らは間近に見るプロ選手の技と迫力に感動した様子だった。

アルバルク東京が掲げる社会的責任プロジェクトの一環として、SDGsの理念「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、プロジェクトに賛同する企業が昨季からホームゲームの観戦招待を実施。交通遺児支援、子育て支援、ひとり親支援などの関係団体を通じて、これまでに12団体約700人を招待している（昨年11月時点）。

この日の試合は、78-70でアルバルク東京が勝利した。

心塾生・道下さんが意見発表

令和4年度警察庁サポート事業

警察庁の令和4年度「交通事故被害者サポート事業」の被害者等支援に関する意見交換会が10月18日、オンライン形式で行われ、交通遺児育英会奨学生で心塾生（東京）の道下亜美さん（法政大2年）が自らの体験を踏まえて意見を述べた。

今回は「家族を亡くした子どもの支援」をテーマに開催。自治体の担当

者、被害者支援機関・団体、警察関係者らが参加し、外部非公開として率直な意見を交わした。

道下さんは中学3年（当時14歳）の時に公務員だった父（享年51）を亡くした。事故直後は将来に対する漠然とした不安を感じたという。高校進学後は、奨学生として米国研修に参加するなど、社会に対する憎しみの

感情が湧き、人間不信の状態に陥った」とも振り返った。

一方、心塾での生活については「交通遺児だけでなく、事故や家庭のことで話せる場所。学生が運営する催しが通年であり、自律を促す場所としての役割もある。遺児同士が交流できる場所はとても重要」と話した。

11月1日には「交通事故でできようだいを亡くした子どもの支援」をテーマに熊本市で公開シンポジウムが行われた。当事者として、京都府亀岡市で2012年、集

出張講演を聴いて

9年前に峠のバイク事故で亡くした義弟のことを思い出し、胸が苦しくなりました。

知人も交通事故で亡くなっており、ひとごとではない。「ハンドルの重みは命の重み」。つくづく、その通りだと思えます。

万が一、事故の当事者になった場合とに人命優先、早期の治療が大事であることを再認識した。

たった一秒の怠りでも人生が変わり、人間性、人格まで変えてしまう恐ろしさを実感しました。焦らず、落ちついてハンドルを握っていききたい。

（事故後も）死別に加えて、心ない言葉で傷付くという許しがたい現実を知りました。やりきれない。

一瞬の気のゆるみで多くの人の人生を変えてしまう恐ろしさを知った。

日常は当たり前ではない、と痛感しました。（赤帽栃木県軽自動車運送協同組合様のアンケートより）

血の出自をたどる

満票で選ばれた直木賞受賞作品だが、日本人は一人も登場しない。台北に住む中国大陸にルーツを持つ一家の物語。

物語に入っていくまでに若干の時間が必要。中国語の人名が出るつど巻頭の「主な登場人物」を参照しながら読み進める。そして中国語のルビにも慣れ、人物たちが肉付けされてくる。と、彼らほとんどん立ち上がり、躍動し始める。

井谷 昌喜 心塾東京寮読書感想文講師

流

東山 彰良 著

団登校中の児童と保護者の列に暴走車が突っ込み、3人が死亡した事故で、妹（当時26歳）を失った中江龍生さんが登場。「家族でもパートナーでもない、同じ境遇の人としか分かち合えない気持ちがある。被害者の兄弟姉妹だけで話ができる場所が全国にあればいい」と話した。

一九七五年四月。中国大陸で中国共産党を生きた抜き、敗走して台湾に逃れた不死身の祖父が何者かに惨殺される。国民党率いる蒋介石総統が病死してほどなくのことだった。

じいちゃん子だった主人公、葉秋生は高等中学二年生の十七歳。真面目だった



（講談社文庫 968円）

もう読んだ？

人間の残忍さと全編に漂うユーモア、現在と過去の巧妙な逆転、数年間をすっ飛ばす加速描写によってスビッド感たっぷりのミステリー小説でもある。

経験こそ「宝物」 冬のイルミネーションに感動！

3年 榎本 舞雪
中学校卒業後、ずっとコロナ禍の中の生活で友人と遊ぶ機会もあまりないまま過ごしていました。

コロナの感染者数も減少傾向にあった2年生の時の12月、中学のころの友人と会う約束をしました。私は「会って話ができればそれでいい」と思っていたのですが、友人の提案は「電車で隣の県の有名なイルミネーションを見に行こうでした。正直なところ、イルミネーション自体にあまり興味なかったこと、電車の外出も、夕方からの外出も面倒だと思ったこと、そして何より寒さに耐えられないと思ひ、私はその提案に乗り気ではありませんでした。断るチャンスもなく、少々ためらい気持で迎え当日。新調したお気に入りのの上を着て、少しでも気分を上げて待ち合わせの駅に向かいました。北風が強く、昼間なのにとても寒かったけれど、友人の姿を見つけた瞬間、テンションは上がりました。ワクワクが止まりませんでした。初めて乗る電車、初めて降りる駅、初めてのイルミネーション。光を見ること何が大変なことばかりだった。私が、到着直後からイルミネーションに心を奪われていました。映える写真を撮ったり、推しのメンバーカラーのイルミネーションを見つめたり、美味しいものを食べたり、久しぶりに会った友人と絶え間ない会話を楽しんだり。出かけるのを待っていた少し前の私に伝えたいです。「楽しいよ!!」

乗り気でないこと、苦手なこと、何でも思い込みで敬遠せずに、経験してみれば楽しいことはたくさんあるんじゃないかと思ひました。経験することは自分の宝物が増えるということです。経験は宝物。（群馬県）

さらに私には姉と兄がいる。姉は進学のため県外にいる。だが母が送迎できない時は姉が帰省し、私の送迎してくれ。それだけではなく、私が悩んだ時は必ず話を聞いてアドバイスをしてくれる。兄は下宿生活に疲れて帰宅した私の身の回りのことを手伝ってくれたり、自主練に自転車で行ってくれたりする。私が通う高校は陸上競技の強豪だ。その学校を選んだ理由は、母をほじめ支えてくれている人たちに恩返しをするためだ。私は小2のころ、父を亡くした。以来、女子ひとりで育ててくれた母に恩返ししたいと思ひ、時、私にできるのは走ることだった。そして今の学校へ進学を決めたが、大変なことばかりだった。実家から部活の朝練に通うことは難しいため、私は下宿をしている。しかし下宿生活は簡単ではなかった。生活スタイルも何もかも違って、なかなか慣れることができなかった。一時、実家から通学していたことがある。その時、母は仕事前私を高校まで送り、仕事が終わったら学校まで迎えに来てくれた。往復1時間40分の道のりは、毎日働く母にとって相当きつかったと思う。それでも私が落ち着くまで、母は送迎してくれ。また、私は自分のケア不足もあり、ケガが多い。その都度、母は病院や鍼治療に連れて行って、練習靴も買ってくれた。



高校生の声

周囲への恩返し「目指すは一番」都大路を駆ける

2年 山口 綾
私が通う高校は陸上競技の強豪だ。その学校を選んだ理由は、母をほじめ支えてくれている人たちに恩返しをするためだ。私は小2のころ、父を亡くした。以来、女子ひとりで育ててくれた母に恩返ししたいと思ひ、時、私にできるのは走ることだった。そして今の学校へ進学を決めたが、大変なことばかりだった。実家から部活の朝練に通うことは難しいため、私は下宿をしている。しかし下宿生活は簡単ではなかった。生活スタイルも何もかも違って、なかなか慣れることができなかった。一時、実家から通学していたことがある。その時、母は仕事前私を高校まで送り、仕事が終わったら学校まで迎えに来てくれた。往復1時間40分の道のりは、毎日働く母にとって相当きつかったと思う。それでも私が落ち着くまで、母は送迎してくれ。また、私は自分のケア不足もあり、ケガが多い。その都度、母は病院や鍼治療に連れて行って、練習靴も買ってくれた。

こうやって私を支えてくれる人のためにも強くなりたい。目標は都大路（＝全国高校駅伝競走大会）を走ることだ。そのため、常に向上心を持ち、練習を続ける。私は家族が自慢できる存在になりたい。私が好きな言葉は「Aim for No.1」。目指すは一番。人として、選手として一番でありたいと思う。（佐賀県）

「無になれる」茶道に魅せられて



おひらひら

齊藤 悠生 さん

兵庫県立三田西陵高校2年

高 校生にして茶をたしなむこと14年。30年前に開校した三田西陵高の茶華道部で初の男子部員となった齊藤悠生さん(17)。先輩の思いを引き継ぎ、2年生になってからは部長を務める。現在、自ら勧誘した3人を含めて2年生5人を束ねている。

クラブ名は茶華道部ながら、華道を披露するのは、入学・卒業式など特別な行事の時に限られる。活動のメインは外部講師も招いて週2回ほど行う茶道だ。ただ、コロナ禍で発表会や他校茶道部とのお茶会など対外的な行事は軒並み中止に。部活動をアピールできる場はめっきり減った。

「茶道はどうしても女性が多しなむもの、というイメージが強く。今の部員は春から全員3年生。何とか新入部員を増やさない。部の存亡がかかっていますから」

部顧問を務める小林真依教諭も「居心地よく、お茶の文化を楽しめるクラブ。何よりお茶の時間は心が落ち着きますよ」と茶道の魅力を説きつつ、「(齊藤さんは)茶道の知識もあり、頼りになる存在。部長として全体をよく見てくれていますよ」と太鼓判を押す。

齊藤さんが茶道に親しむきっかけは幼稚園のころ。通っていた幼稚園では茶道の時間があり、以来、「茶とともに生きてきた」と言い切るほどの魅力にハマった。

茶道と聞けば厳格な作法や型が思い浮かぶが、幼稚園では主に「お茶を飲んで感謝の心を伝えることを学んだ」という。

「起床して顔を洗うように、生活の中に茶道がありました」。小学校に上がる前、そのまま幼稚園時代の茶道の先生に入門、年長者に交じって稽古を続けている。

「純粹にお茶をたてる行為が好きですね。ずっとやっていられるくらい。無になれるんです」「茶道は型が決まっています。他者と競うのではなく、どこまで道を追究できるか自分の限界点を見極めていくのが好きです」

それでも指導を受ける師の所作を間近に見ると、圧倒されるばかりという。「流れるような、違和感のない動作で型にはまっている感じがしないけど、きちんと作法にかなっている。次元が違いますよ」

目下の課題は茶室に掛かる掛け軸を読んで理解できるようにすること。四季折々の軸は客に茶をたてて、もてなす側の心が問われる。

「掛け軸の内容を理解して、茶をたてられるようにならないとだめなんです」と精進は続く。

「大人になっても茶道と付き合っていきたい」

親(49)は20歳の時、バイク事故で視力を失った。共に暮らす盲導犬は3代目。すっかり家族の一員だ。「ごめん普通のお父です。ただ視覚に障害があるだけで。障害による)ハンディも全く感じません」

その父と将来について語り合ったことはないが、「やりたいようにやりなさい」と言われたことを覚えている。ただ、高校卒業後は大学に進み、養護教諭の免許を取って「保健室の先生」になりたい、と感じている。明確な目標とは言えないまでも、職業として徐々に輪郭が浮かびつつあるような感覚だ。

「小学生の時、保健室登校していた時期があった。『保健室っていいな』と思った。保健室が当時の自分の支えでした。だから、自分も生徒の支えになる場所を作れる人になれたらいいな、と」

なんとなく大学に行って、なんとなく就職するより、「やりたい、と思えることがあれば、そっちに進んでみるのもいいかな、と」

周囲に「ぶれない性格」と言われるという齊藤さん、気に入っている言葉がある。

「置かれた場所で咲く」

茶の心を育んだ17歳、どこでどんな花を咲かせるのか。

「やり抜く根性」で建築の世界へ

夢まっしぐら

岡嶋 柚月 さん

東海工業専門学校金山校 建築工学科2年



「今のクラス、40人中女子は8人だけなんです。よ。そう笑うのは、名古屋市の専門学校で建築工学を学ぶ岡嶋柚月さん(19)。男子学生が目立つ建築系で、小中高とバレーボールで鍛えた「根性」を武器に、建築士試験合格を目指している。

「もともと建築に興味があったのですか。」

「子どもの頃からブロック遊びとか、モノづくり」に興味がありました。建築以外の進路を考えたこともありましたが、今の学校の入学案内を見てオープンキャンパスに行ってみると、先生方がとても本格的に、他にも

大垣市のシンボル・大垣城の城門前で

「具体的には絞ってはいませんが、一般向け住宅を手がけられるような、そんな就職先が見つかればいいと思います。電車や車の窓から見る景色の中に気になる家があると、『デザイン、間取りはどんな感じだろう』とか考えたりするんですよ。『ドアの規格は何センチくらいかな』とか」

「建築の仕事は社会に出て夢が広がりますね。」

「お客さんの要望に応えられる、喜んでもらえる住宅を建てられたら、と。私、やると決めたら最後までやり抜くタイプなんです。9年間、バレーで鍛えられましたから」

「つらくて何度もやめようと思ったバレーボール。だが、『途中でやめたら何も残らない』と覚悟を決めて続けた。今は母(52)が参加する地域のチームに時々、「助っ人」として加わる。バレーやっていた時は純粹に楽しいですよ」

「高」3のギリギリのタイミングで決めました。入学当初は『勉強に』ついていけないかなあ』と不安もありましたが、普通科出身の学生も大勢いると聞いて、『よし、頑張ろう』って」

も話やすく。学校の雰囲気もとても楽しそう。今は建築系に進学して良かったなと思っています」

「授業は相当に専門的なんでしょね。」

「週1回ある製図の授業に苦戦気味です。1年生の時はお手本を見て図面を描くんですが、2年生では課題に基づいて自分が設計した図面を描くんです。これが難しい(笑)」

「建築系分野は資格もたくさんあります。」

「今は(国家資格の)2級建築施工管理技士の1次試験を突破したところです。今年2級建築士試験へ向けた勉強も本格化しますし、他にも

「元は岐阜県大垣市。『大垣まつり』は370年余の歴史を誇り、ユネスコ無形文化遺産にも登録された伝統行事だ。市街を練り歩く華やかで勇壮なヤマ(山車)は、まさにまつりの醍醐味と言える。父(享年59)は小1の時に亡くなったが、『母と妹と一緒に見た、立派なヤマと父の姿を今でも覚えています』」

「型にとらわれない」理学療法士に



中学から続けるバスケットボールは進路選びのきっかけに

理

理学療法士を目指し、九州南端の鹿児島県へ1500キロを飛び越えて進学した伊香孝則さん(20)。北海道・函館出身ながら、「道外へ出てみたい」と理学療法を学べる大学として鹿児島大に白羽の矢を立てた。

中学の時から続けているバスケットボールでの経験が理学療法士への夢をかき立てたという。中学時代、部活で腰を痛めて通院していた時期、「リハビリで出会った理学療法士さんが、進路を決めるきっかけになりました。身体を

進

療にも関心があります。バスケットを続けてきたこともあり、障害者スポーツにも。大学には国際的に著名な先生も多く、海外への憧れは今もあるという夢多き20歳である。近年、理学療法士は増加傾向にある。データはやや古いが厚生労働省の資料によれば、病院や介護施設などで働く理学療法士は2002年の3万4000人余りから14年には10万人を突破している。

「父(享年30)は1歳の時に亡くなったため、その記憶はほとんどない。母に写真を見せてもらっただけ。父は真面目な性格だったと聞いたので、『自分も頑張ろう』と。理学療法士として社会に出て、最終的に北海道に戻れたらベストです」

はばたく

伊香 孝則さん

鹿児島大学医学部保健学科2年

「リハビリで出会った理学療法士さんが、進路を決めるきっかけになりました。身体を始まり、職業への理解が深まる。将来の選択は大きく広がったという。『国家資格取得後、病院など医療機関に就職するパターンが一般的』と。思っていたが、『大学にはさまざまな研究室があって、例えば高齢者に特化して地域のリハビリを行う研究だったり、テーマが細分化しています。理学療法士という職種は一つでも働き方にはいろんな形があるんだな、と学びました。決まった型にとらわれない理学療法士になりたい』。さらには、『鹿児島に来て島の魅力を知り、離島の医



「雪は降らないけど夏はめちゃくちゃ暑いです」(背景は鹿児島・桜島)

オンステージ

快

活で屈託のない、イマドキの女子——そんなイメージがしっくりくる。地元・名古屋で営業事務職として働く鈴木花奈子さん(29)。京都の女子大を卒業後、大手家具メーカーに就職。福岡に赴任して営業の仕事をした。

だが、高校時代は「黒歴史」「あの頃の自分とは絶対対友だちになんか」と明かすほど、屈折した日々を過ごしていたという。「何も考えたくなくて、全てが面倒くさくて、一匹狼的な感じで。正直、腐ってましたね。でも今はこんなに楽しく生きてる。ほんとに人生捨てたもんじゃありません、って思います」

「地元は明るい子ばかりだった」という環境で過ごした10代。「周囲の友人に合わせると明るく振る舞ううちに、本当は自分ってどういう人間なのか」と、自己の内面について考え、悩んだという。県外の大学へ進学を決めたのも、「知らない土地で一から人間関係をとかいろいろ学びましたね」

鈴木花奈子さん

東北特殊鋼株式会社名古屋営業所(名古屋市)



転機の大学時代、「人生捨てたもんじゃない」

3

歳の時、消防職員だった父(享年31)はオートバイ事故で急逝。大学生の時、「中型二輪免許を取りたい」と打ち明けると、母は「お母さんの気持ちも考えて」と複雑な表情を見せた。「自分の行動に責任が持てるようになったら」との条件が付き、社会人になってから免許を取得。バイクは買わず、レンタルでたまにツーリングを楽しむ。大学時代に培った留学生らとの交流は今も続く。昨年10月、ハロウィンを控えたソウル・梨泰院で起きた群衆死事故。「まさか」と思い、片っ端から安否を尋ねるメールを送ると全員無事。ホッとした。「まだ覚えていてくれたの?」との返信にはこう返した。「もちろんだよ」



あしながおじさんの広場



お便り

【10月】
努力することを楽しみ、自分に負けず社会の役に立つ人になってください。
(神奈川県I・Kさん)

◇
14歳の時に父が戦死し、4人きょうだいの長女として頑張った時期を思い出しました。9月で90歳の誕生日を迎えました。皆、立派な人になって社会に役立つ人になるよう祈っております。
(秋田県T・Yさん)

◇
いつも応援しています。
(福島県K・Nさん)

三栄製薬株式会社 様
美と健康のための
製品作りとCSR活動
三栄製薬様は、70年前に医薬品からスタートし、現在では、世の中に役立つ独自の製品を開発し、人々の人生の喜びや幸せが少しでも増えるように、との願いから、

ご支援に感謝いたします

育英会から

学校進学のために役立つ大切な家族を交通事故で失った子どもたちに少しくらいお役に立てればと思います。子どもたちの健やかな成長を、陰ながら応援しています。
(神奈川県Y・Yさん)

◇
勉強がしたい子どもたちが進学を選択できる世の中になるよう願っています。
(神奈川県O・Aさん)

◇
いつまでもコロナ禍が続く中、皆さん大変な思いをされていること、子どもたちが明日への勇気と希望を持って生きていけるよう願っております。
(東京都K・Kさん)

心塾新東京寮 工事の安全を祈願



心塾東京寮（東京都日野市）の旧施設解体工事の完了に合わせ、新寮の着工に向けた工事安全祈願祭が9月28日、同市内の若宮神社で行われた。新寮は2023年末に竣工、翌春から運営が始まる予定。

安全祈願祭には、交通遺児育英会の石橋健一理事長、心塾塾長を務める土肥寿員専務理事をはじめ、地元自治会役員、施工を担当する東レ建設（大阪市）の角川政信社長らが出席。玉串を奉納して工事の安全無事を祈願した＝写真。

交通遺児育英会の連絡先(平日9:00~17:30)

- ▽奨学金貸与について 0120-521286
- ▽返還・猶予・免除について 0120-521287
- ▽成績相談・つどい・語学研修 0120-521295
- ▽募金・寄付について 0120-521285
- ▽心塾入寮申し込みについて 0120-355619

教えて！交通事故Q&A

(公財)日弁連交通事故相談センター ④

Q 信号待ちで停車中に、後方から進行してきた車両に追突されました。この事故で、私は頸椎捻挫の傷害を負いました。事故後は首の痛みが強く、事故後6か月経っても症状が残っていました。主治医に後遺障害診断書を作成してもらいましたが、その後、加害者側の保険会社を通じて後遺障害等級認定の申請をしましたが、審査機関である損害保険料率算出機構からは、症状の一貫性・将来残存性に乏しいとして後遺障害等級が認められませんでした。結果に納得がいかないのですが、どうにかありませんでしょうか。
(千葉県・45歳女性)

「後遺障害等級」が認められなかった場合の対応について

A 後遺障害等級が認められなかった場合、追加資料を準備した上で、被害者として加害者側の任意保険会社に異議申立を行う、ii 直接自賠責保険会社に異議申立を行う、iii 一般財団法人自賠責保険・共済紛争処理機構に紛争処理申請を行うといった方法があります。異議申立の場合、異議申立書式(加害者側任意保険会社又は自賠責保険会社から入手できます)に、後遺障害等級が認められなかった判断が不当である理由を記載して提出します。症状の裏付けになる新たな資料や主張がないと簡単には等級認定は覆りませんので、医師等に相談のうえ、できる限り新たな資料(診断書、意見書、画像資料、検査所見等)を添付する必要があります(上記資料を準備しても認定されないケースもあります)。なお、異議申立の手続や資料の準備につきましては、専門的知識が必要となる場合も多いため、弁護士への相談・委任もご検討いただければと思います。
(第一東京弁護士会・片桐武)

日弁連交通事故相談センター無料相談ダイヤル

0120-0783-25

月～金(祝日除く)10時～16時30分(相談・通話無料、10分程度) 水は19時まで(第5週は16時30分まで)

ホームページ <https://n-tacc.or.jp/>

交通遺児 奨学生募集

ハンドルの重みは命の重み

高校・専修学校・各種学校
大学・大学院

《保護者の重い
後遺障害も対象です》

東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

(公財) 交通遺児育英会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286
<https://www.kotsuiji.com/>

